

中国で Web アクセシビリティ事業を開始

Web サイトのアクセシビリティをサポートする
WEB サーバー用ソフトウェア「ZoomSight」(ズームサイト)を提供し、
アクセシビリティ対応 Web サイトの構築を支援



「貼心広角」
(中国向け「ZoomSight」)画面例

日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO:篠本 学ノ以下、日立)は、このたび、高齢者や目の不自由な方、外国人や子供まで利用者の誰もが使いやすく、かつ閲覧しやすい Web サイトを実現するための Web アクセシビリティ事業を、中国の企業や大学、政府機関向けに開始します。具体的には、Web アクセシビリティに対応した Web サイトのコンテンツ作成を支援するコンサルティングサービスと、企業などが提供する Web サイトにおいて、中国語や英語などによる音声読み上げや画面・文字サイズの拡大が可能となるソフトウェア「貼心広角」(中国向け「ZoomSight」)を中国向けに開発し、6月13日から販売を開始します。

インターネットの普及にともない、企業や大学、政府機関などは、Web サイトからさまざまなコンテンツやサービスを提供しています。特に、中国では、2008年の北京オリンピックを目前に控え、その Web サイトを、高齢者や目の不自由な方、外国人など利用者の誰もが使いやすく、かつ閲覧しやすいというアクセシビリティ配慮の必要性が高まっています。

今回、中国で開始するアクセシビリティ事業は、北京日立北工大信息系统有限公司(本社:中国北京市、総経理:郭 慶柱)が、日本国内の Web アクセシビリティ支援事業において実績のある日立公共システムエンジニアリング株式会社(本社:東京都江東区、取締役社長:森内 康浩)と連携し、「貼心広角」(中国向け「ZoomSight」)の提供とコンサルティングサービスを行います。

今後も、日立は、情報機器やシステムに対する利用者の使いやすさを向上させるアクセシビリティを配慮した製品・ソリューションを提供していきます。

Web サーバー用ソフトウェア「ZoomSight」について (<http://www.hitachi.co.jp/app/zoomsight/>)

「ZoomSight」は、日立公共システムエンジニアリング株式会社が開発し、2003 年から販売を開始しました。現在、国内では、すでに西東京市や茅ヶ崎市などの地方公共団体や、松阪屋をはじめとする企業、そのほか官公庁などの約 70 団体の Web サイトに採用されています。

「貼心広角」(中国向け「ZoomSight」)の価格および出荷時期

製品名	価格 (*1)	提供開始
「貼心広角」	20,000 元 ~	2007 年 7 月 23 日

(*1)価格は対応ドメイン数により異なります。

「貼心広角」の販売目標

2010 年までに 300 ユーザ

本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信グループ 公共システム営業統括本部

カスタマ・リレーションズセンタ【担当:森、佐々木】

〒136 - 8632 東京都江東区新砂一丁目6番27号 新砂プラザ

TEL : 03 - 5632 - 7412(ダイヤルイン)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
